

2016年4月9日(土)

十二ヶ岳(西湖)

西湖畔にある「十二ヶ岳」はクマさん会で初めての挑戦であり、未知数であった。登山地図やインターネット情報を頼りに企画をした。最初は文化洞トンネル近くの登山口から毛無山(1500m)に登り(90)、十二ヶ岳(1683m)へ尾根を縦走し、桑留尾へ下るルートを考えたが、下図の地図に記載されている通り、「危」マークが二つもあり、リスクが大きく、今回は西湖畔の桑留尾(十二ヶ岳登山口900m)から十二ヶ岳山頂(1683m)をピストンすることにした。コースタイムは、登山地図のタイムをそのまま用いた。登山道、山頂から西湖&富士山への展望が期待できる。参加者は、岡部さん、布目さん、小野寺さん、中島さん、川島さんの女性5名と、石井さん、堀さん、能勢さん、熊本の男性4名の計9名である。

(Report by kumamoto)



標高差約750mで、登り2時間30分だが、地図の等高線を見ると最初から山頂まで急登の連続が予想された。天候は午前晴れ、午後曇りの予想だった。



岡部さん、布目さん、堀さん、能勢さん、小野寺さん、川島さん、熊本は、7:51 大月発の富士急に滑り込み河口湖に向かう



中島さん、石井さんは、8:11 大月発のふじさん特急で先発の 7 名を追いかける



富士急沿線の桜は今が見頃の満開だった



三つ峠駅を過ぎると富士山が大きく姿を現した。



富士山駅（旧富士吉田）のホームから正面に雄大な富士が見られる。5合目辺りの雪もまばらで、やはり今年の積雪は非常に少ない。



河口湖駅に到着し、西湖行（9:10）のバス停に並び、石井さん、中島さんの到着を待つ。



西湖行は超満員で外人が半分以上だ。この西湖周遊バスは生活バスでなく、観光バスのため、観光地をぐるぐる巡りながら名所、旧跡で止まり、且つ同じ場所を何度も回るため目的地まで相当な時間を要した。



河口湖から約 70 分掛かり、10:20 「十二ヶ岳登山口」 バス停にヤット到着した。



バス停から 3, 4 分進んだところに「十二ヶ岳登山口入口」の標識があり、そこで登山準備を整える。



10:33 登山開始した途端に、イキナリの急登である。



5分ほど登ると、人家のない山道の中で通学路への分岐が現れた（？）、勿論、我々は十二ヶ岳登山道へ進む



登り始めて 15 分経過し、急登に汗が出来始める



久し振り参加の川島さん、小野寺さんも快調に急登を登る。
小野寺さんは昨年新調したゴローの登山靴の初卸である。



20分経過したころ暑さで布目さんが、座り込み「休み休みマイペース」で行くからとのことで、我々は先に進む。これはいつものことで、布目さんは必ず追いついてくるので心配はない。



30分弱登り「文化洞トンネル」の標識を過ぎた所で、最初の5分給水タイムを取る。(11:03)

岡部さんからきなこ餅の差入があり頬張る。



一回目休憩から更に15分程登ると、大木が奇妙な格好で倒れていた。(11:15)



中島さんにカメラを構えられ、ついポーズを取ってしまった石井さん、熊本。

この時点では、まだ余裕があった。



やや緩やかな登りになった処に、タワワに花開いた馬酔木に出会った。



登り始めて約1時間で2回目の休憩を取る。今度は乾燥オレンジでビタミン補給だ。(11:30)





道幅が 30 センチ程度と狭く、更に谷側の急斜面が崩れて要注意。最初のロープ場だ。 (11:50)



出発から 1 時間 30 分で標高約 1450m まで登り標高差 550m ほど稼いだ。

ニュー登山靴履き初めの小野寺さんが、両足の踵に豆をつくり応急処置をする。

ここで 3 回目の休息を取った。この間に布目さんが追いついてきて一安心だ。



布目さん (左 : 中央) も元気を回復して更に上を目指す。



12:30 標高 1500m に到達。再び馬酔木の群生地が現れた。



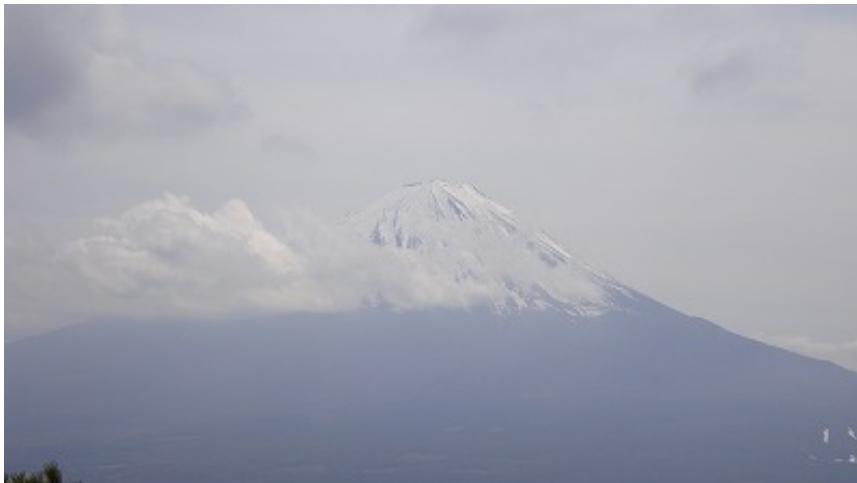
ここまで樹林帯の中で展望は全くなかったが、更に傾斜がきつくなり、振り返ると、木々の間から富士山が綺麗に見えた。



既に、12時40分で、先頭を引っ張る堀さんは「ガス欠だー」と言って、途端にペースが落ちる。堀さんも熊野古道用に新調したトレッキングシューズの試し履きだ。



更に高度を上げると展望が開け、眼下に西湖の全貌が見えてきた。



同時に富士山も裾野まで綺麗に現れた。多少雲が出てきたが、山頂は雲の上に出ている。



この後は、ロープ場及び岩場の連続で、体力の限界を試させられているようだ。

皆からは、「これが初級コースか？ とんでもない」と責め立てられたが、

「何せ、初めての山なもので」と逃げの一手。ブログには危険はなく、一般向けと書いてあったのだ。





予定していた昼食時間（13:00）を過ぎても、次から次と限りなく現れる岩場とロープ場に悪戦苦闘する。



13:15 ヤット毛無山（1500m）からの分岐に達した。ここから十二ヶ岳山頂まではもう直ぐだ。



十二ヶ岳山頂（1683m）に13:20 堀さん、能勢さん、岡部さんが先ず到着した。



続いて、後続が山頂に立った。
予定より 20 分遅い到着となつた。



13:25 ヤット昼食にありつけ、能勢さんが担ぎ込んだ「セコマワイン」で乾杯！
悪戦苦闘の末に、山頂到達しただけに、ワインの味も格別だった。「ウマイー！」



富士山と西湖を眺めながら、女性陣が持ち込んでくれた惣菜を頂きながら美味しく昼食を取つた。



山頂から臨む西湖と富士山。 絶景だ！



山頂達成記念写真。 全員、達成感に満ちた顔だ。 (13:45)

山頂からの展望を十分満喫し下山に入る。



下山は、登りのルートと全く同じコースを下る。 ロープ場&岩場は登り時よりも下りの方が、よりリスクが高い。 男性・女性・男性・女性・男性の順で相互にサポートしながら慎重に下る。



下り開始から約 30 分で標高差 300m のロープ場と岩場を一気に下り切り難所はクリアーした。

しかし、既に足はパンパンに張ってきた。(14:17)



難所を無事下り切り、15:40 日帰温泉「いづみの湯」に到着し、約 1 時間、入浴休憩した。
初めての温泉だったが露天風呂も良く、大広間も空いていて良かった。



「いずみの湯」で入浴休憩した後、十二ヶ岳登山口バス停にて 16:48 発の西湖周遊バスを待つ。河口湖行バスは予定より 3 分遅れて到着し乗り込んだところ満員で、且つ周囲を見渡すと、外人、外人ばかりで日本人は我々以外見当たらなかった。

バスが遅れたために、新宿直通の快速電車 17:27 発の 2 分前に着き、ギリギリで間に合った次第だ。更に驚いたことに、バスだけでなく、電車内も外人、外人ばかりである。今や富士五湖周辺の観光地は、外人達に占拠されてしまったようだ。

6両編成の半分 3両が自由席車両で、何とか 9 名固まって座席を確保することができ、帰路についた。

能勢さん、石井さん、中島さんは八王子乗り換えであり、八王子下車は当然であるが、何故か熊本まで、下車してしまった。

例によって、蕎麦処「凜や」でへぎ蕎麦で一杯やろうに、またまた乗ってしまった（これで 3 回目だ）。





約 1 時間飲んで帰路に着きました。

十二ヶ岳は初めての山だったが、ロープや岩場の連続で変化に富んだ面白い山で、山頂からの西湖と富士山は絶景だった。

次回このコースを再トライする場合は、河口湖からタクシーの利用が良い。25 分程度で登山口まで着き、バスよりも 45 分位短縮されるだろう。

更に、毛無山から十二ヶ岳への縦走コース（中級）も面白そうで、機会があればトライしてみよう。